

JPFP は、1974 年に世界初の人口・開発問題に関する超党派議連として設立されました。

国際社会における日本外交を牽引してきた歴史と伝統を誇る議員連盟として、世界的連帯による様々な難問の解決が求められている今日、ますます重要な役割が期待されています。

毎号「JPFP コラム」、
「ニュース」にて、人口と開発に関わるご活動・取り組みについてご紹介いたします。

ニュース:

- 若者とアラブ・アジア国会議員の世代間対話
- グローバル・ヤング・リーダーズ・コース

【編集責任:JPFP 事務局】

ニュース

若者とアラブ・アジア国会議員の世代間対話

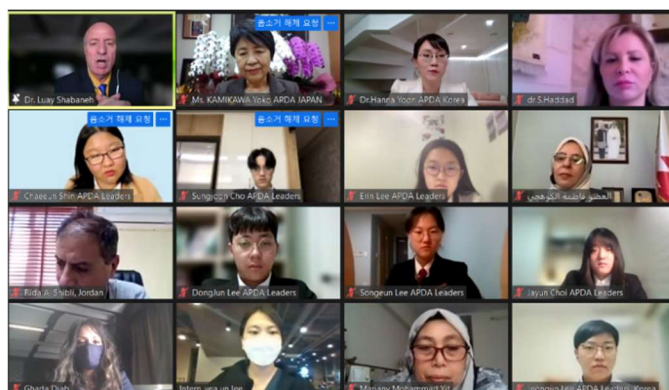
11 月 18 日、JPFP 事務局を務める(公財)アジア人口・開発協会(APDA)は、国連人口基金(UNFPA)アラブ地域事務局(ASRO)と日本信託基金(JTF)の支援の下、「持続可能な開発の達成に向けた若者とアラブ・アジア国会議員の世代間対話」と題したオンライン会議を開催しました。

本年 APDA は、自主事業として「グローバル・ヤング・リーダーズ・コース」を開設し、各分野の第一線で活躍する専門家による講座等を 12 回にわたり実施しました。このコースは、持続可能な開発の達成に向け、未来を担う当事者である若者が問題意識を持って解決方法を検討し、取り組む場を提供することを目的として企画され、12 名の意欲ある若者がコースを修了しました。(詳細は pp.2-3)

今回のウェビナーは、若者たちがコースで学んだことを基に、自らの問題意識をまとめて発表し、アラブ・アジアの国会議員と意見交換を行う、またとない機会となりました。

開会に当たり、上川陽子 JPFP 会長・APDA 理事は、参加者に感謝を述べ、「COP26 が終了したばかりだが、持続可能な開発を達成するためには、これまで環境に負荷をかけることで達成してきた、“開発”そのものを見直す必要がある」と話しました。社会のあり方を考え、新しい考え方や方法を見出すためにも、若者の力が重要であり、「若い方々の画期的な発表は、国会議員にとっても新しい政策課題の発掘につながるであろう」と述べ、若者に激励の言葉を贈りました。

続いて、後援機関を代表し、ルアイ・シャバナネ UNFPA ASRO 地域事務所長が挨拶を行い、今後、国会議員活動の分野で若手国会議員の動員に、より注力したいと考えていることから、今回のウェビナーは時宜を得た、非常に参考になる事業であると感謝を述べました。



グループセッションでは、「グローバル・ヤング・リーダーズ・コース」創設者であるユン・ハンナ氏の進行の下、3 つの若者グループが、以下のテーマで発表を行いました。

グループ A: 貧困、スマート農業による少数民族の支援

グループ B: ゴミ箱のデジタルマップ化による、公共の場でのポイ捨ての削減

グループ C: 高齢化社会:テクノロジーの活用による高齢者の社会的孤立の克服

これらの発表を受け、モロッコ、チュニジア、バーレーン、インドなど、アラブ・アジアの国会議員や国内委員会代表などから、発表者への大きな賞賛と、様々なコメントが寄せられました。特に各国で、ぜひこのような若者と国会議員の事業を実施し、研究機関とも連携したいという希望が口々に寄せられました。

マリアニー・モハメッド・イット元議員(マレーシア)からは、人口問題と同時に農業生産の問題を扱うことの重要性が述べられ、APDA の事業の中でそのような展開を行ってほしいと強い希望が示され、これに対し楠本修 APDA 常務理事は、「APDA の設立目的はまさしく人口問題、食料問題への対処を通じて持続可能な開発を達成することであり、可能な限りそのような視点を取り込んでいきたい」と回答しました。

国際人口問題議員懇談会 (JPFP)

創立: 1974 年 4 月 1 日

会長: 上川陽子 衆議院議員 (第 7 代)

会員: 69 名
(2021 年 11 月 30 日現在)

事務局: (公財) アジア人口・開発協会 (APDA)

TEL: 03-5405-8844

FAX: 03-5405-8845

Eメール: apda@apda.jp

HP: <http://www.apda.jp>

バックナンバーはこちらから
ご覧いただけます

<https://www.apda.jp/topics.html>

最後に、リダ・カワルデ上院議員(ヨルダン)より、熱心な参加と有意義な対話が実現できたことへの重ねての感謝とともに、アラブ地域の参加を促進してほしいとの希望が述べられました。日本からは、上川陽子 JPFP 会長に加え、堀内詔子議員、牧山ひろえ議員が参加しました。

グローバル・ヤング・リーダーズ・コース

APDA は上川陽子 APDA 理事・JPFP 会長のイニシアティブの下、「若者」を活動の焦点の 1 つとし、2021 年 7~9 月に「APDA グローバル・ヤング・リーダーズ・コース」、7 月に「若者の参加推進のためのアジア国会議員と若者の世代間対話」、11 月に「持続可能な開発の達成に向けた若者とアラブ・アジア国会議員の世代間対話」を実施しました。

「APDA グローバル・ヤング・リーダーズ・コース」は、若者をテーマとした APDA の活動の中で、持続可能な開発を可能にするために必要な問題意識と当事者意識を醸成し、自ら問題解決のための方法を考え、アイデアを構築することを目的とする活動です。このコースは、SDGs について世界でも最先端で活躍する研究者及び実務家による 10 回の講義と、2 回の国会議員に対するインタビューで構成され、参加者の学習の成果は、11 月の「若者とアラブ・アジア国会議員の世代間対話」で発表されました。

「グローバル・ヤング・リーダーズ・コース」ダイジェストビデオ

<https://youtu.be/wlGnxuyv14>

【コース内容】

7/3 (土) 10:00-13:00

「イントロダクション」

楠本 修 APDA 事務局長・常務理事

7/10 (土) 10:00-13:00

「食料廃棄物ゼロに向けた思考法(デザインシンキング)」

ヘレン・リー (前 米国アラバマ州トロイ大学教授)

7/17 (土) 15:00-18:00

「飢餓をなくそう」

シオバン・トレーシー (弁護士)

7/24 (土) 17:00-20:00

「グローバルヘルスと健康格差の理解について」

デビッド・スミス (アングリア・ラスキン大学 健康・教育・医学・社会福祉学部 准教授)

7/31 (土) 9:30-12:30

「気候変動に強い農業」

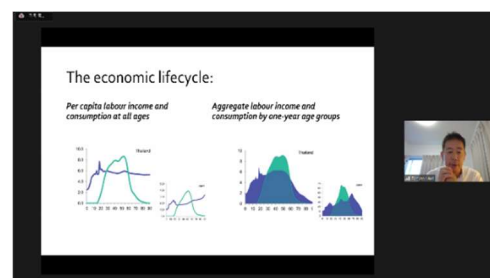
サロジ・ダッシュ (コンサーンワールドワイド国際プログラムディレクター)

8/14 (土) 9:30-12:30

「高齢化と少子化」

森 臨太郎 MD PhD MSc FRCPCH

(UNFPA アジア太平洋地域事務所 地域アドバイザー(人口高齢化と持続可能な開発))



8/21 (土) 9:30-12:30

「次のパンデミックにどう立ち向かうか。多面的な状況を知り、考える」

狩野光伸(岡山大学教授・副理事／外務大臣科学技術顧問／APDA シニアフェロー)

8/28 (土) 9:30-12:30

「IT を活用したインドネシア社会課題克服の可能性」

ケビン・サンジョト(SXREW Intelligence Technology 最高戦略責任者／オルタナティブ・ビジョン・インドネシア CEO／ペギペギ創業者兼マネージングディレクター)

9/4 (土) 15:00～18:00

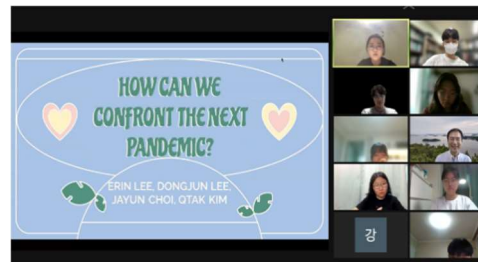
「世界の状況を改善するための努力」

セムーン・ユン(世界経済フォーラム(WEF)テクノロジー・パイオニア・コミュニティ主任)

9/25 (土) 9:00-12:00

「メディアは人々や社会にどのような影響を与えるか」

ファルハナ・ハク・ラーマン インター・プレス・サービス(IPS)シニア・ヴァイス・プレジデント



JPFP 事務局

TEL: 03-5405-8844

FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp

JPFP 入会をご希望の方は、apda@apda.jp までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

尚、配信停止をご希望の方は apda@apda.jp までお願いいたします。



本ニュースレターは国際家族計画連盟(IPPF)の支援を受けて発行しています。